

関係各位

京都府病虫害防除所長  
(公印省略)

病虫害発生予察情報について

下記のとおり発表しましたので、送付します。

◇  
発生予察特殊報第2号

病虫害名	タバコノミハムシ <i>Epitrix hirtipennis</i> (Melsheimer)
作物名	ナス、トマト
発生地	中丹地域以南

## 1 発生経過

令和元年7月下旬に京都市内の露地栽培ナスにおいて、ノミハムシ類の成虫による葉の食害が確認された。成虫を採集し、農林水産省神戸植物防疫所に同定を依頼したところ、本府では未確認のタバコノミハムシと同定された。本種は、アメリカ合衆国を原産とする外来種で、国内では、平成23年に群馬県で初めて発生が確認され、令和元年9月20日現在、栃木県、神奈川県、静岡県、愛知県、三重県、岐阜県、大分県、新潟県、滋賀県、奈良県、大阪府及び岡山県で発生が確認されている。

## 2 形態及び生態

成虫の体長は1.5～2.5mm。長楕円形でやや扁平であり、密な短刺毛に覆われる。体色はやや光沢のある赤褐色で、上翅には不明瞭な黒斑がある(写真1)。後腿節は顕著に肥大し、触角は11節である。卵は地表に産み付けられ、孵化した幼虫は地中で根を加害した後、地表部近くで蛹化する。気温27℃長日条件(14時間明期、10時間暗期)下における卵から成虫までの発育日数は約24日である。成虫は落葉等の下で越冬する。国内での詳細な生活史は不明であるが、関東地方では、5月から11月まで成虫の発生が確認されている。

本種はタバコ、ナス、ジャガイモ、ホウズキ等のナス科植物を寄主とし、アメリカ合衆国ではタバコの重要害虫とされている。国内では、これまでホウズキ、ナス、ジャガイモ、ワルナスビ、トマトで発生が確認されている。

## 3 被害の特徴

成虫が葉(写真2)や花(写真3)を直径1～2mm程度の小さな円状に表皮を残したり貫通させて食害する。

## 4 発生状況

令和元年8月から9月にかけて京都府内の減農薬栽培ナスを中心に本種の発生調査を行った結果、のべ25ほ場中、15ほ場において、本種の発生を確認し、中丹地域の福知山市から山城地域の精華町までの広範囲で確認した(表1)。また、発生ほ場に隣接するトマトにおいても本種による被害葉を確認した。

## 5 防除対策

- (1) 令和元年9月20日現在、本種に登録のある農薬はない。しかし、本府において慣行の薬剤防除を行っているナスほ場での被害は軽微であることから、慣行栽培ほ場で被害が拡大する可能性は低いと考えられる。
- (2) 被害葉及び作物残渣は本種の発生源となり、隣接するナス科作物へ本種が移動するので、栽培終了後には作物残渣を速やかに処分する。



写真1 タバコノミハムシ成虫(体長約2mm)



写真2 タバコノミハムシ成虫によるナスの被害葉

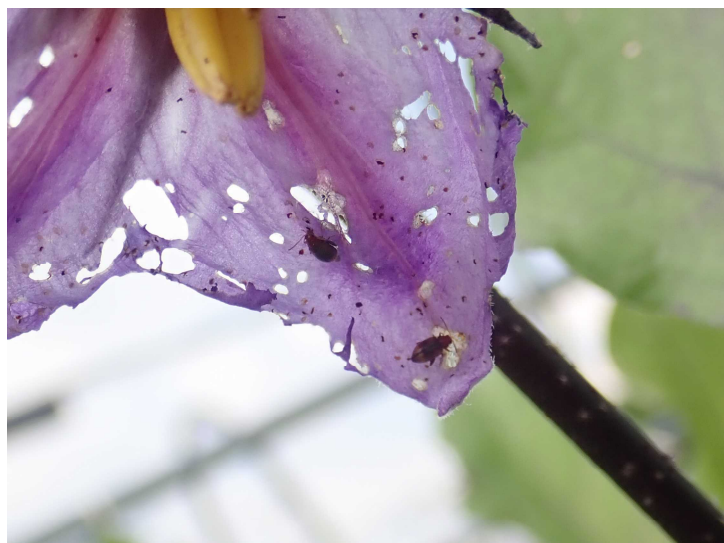


写真3 タバコノミハムシ成虫とナスの被害花

表1 京都府の露地ナス栽培におけるタバコノミハムシの発生状況（令和元年）

調査日	調査地点	被害株率	被害葉率	虫数／100葉
9月11日	木津川市木津1	0.0	0.0	0
	〃 2	0.0	0.0	0
	精華町祝園	40.0	8.0	0
9月2日	京田辺市飯岡	10.0	2.0	2
	〃 大住	0.0	0.0	0
	〃 松井	0.0	0.0	0
8月7日	京都市右京区1	100.0	98.0	3
9月10日		100.0	100.0	7
8月7日	〃 2	30.0	8.0	1
9月10日		15.0	3.0	0
8月7日	〃 3	100.0	100.0	0
9月10日		100.0	86.0	2
8月7日	〃 4	100.0	100.0	34
9月10日		100.0	100.0	2
8月7日	〃 5	90.0	41.0	0
9月10日		100.0	75.0	0
8月7日	〃 6	0.0	0.0	0
9月3日	亀岡市東本梅1	60.0	26.0	2
	〃 2	0.0	0.0	0
	〃 3	100.0	65.0	10
8月27日	綾部市志賀郷町	0.0	0.0	0
	福知山市三和町	0.0	0.0	0
9月7日	福知山市大江町	—	—	1
9月12日	京丹後市大宮町	0.0	0.0	0
	京丹後市弥栄町	0.0	0.0	0

5葉／株、20株調査。 —：データなし

<参考文献>

原田晴康・滝沢春雄（2012）日本における侵入害虫タバコノミハムシの発生．応動昆 56: 117-120.